

# 新年のごあいさつ

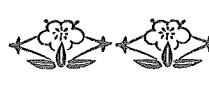
岡山県畜産会 会長 花尾省治

昭和五十五年を迎えるにあたり、まずは新春のお慶びを申し上げます。

皆様方も往く年来る年に、いろいろの想いを馳せておられることがあります。本県の畜産にとって、今年こそ佳い年でありますよう急いでやみません。

一九七〇年代は激動の一〇年といわれましたが、まさにそのとおりといえます。このような中で、我が国農業にとってかってない厳しさが加わって、基幹作物の米はもちろんのこと、畜産物においても牛肉を除いては、牛乳、豚肉、鶏肉と畜産物はおしなべて生産過剰が表面化し、特に牛乳と豚肉は当面の大きな課題となつております。

酪農につきましては、牛乳の需要と供給のバランスがとれなくなり、いわゆる自主調整に踏み切らねばならない情勢に



## 一月号 目次

新年のごあいさつ

花尾省治

表紙裏

年頭にあたつて 三村剛 1

(80年代の畜産を語る) 花尾省治

①本県酪農の現状と80年代の酪農

②80年代の養鶏を語る 池田隆政

③80年代の肉畜を語る 柏原要

④80年代の肉畜を語る 阿新

⑤80年代の肉畜を語る 6

⑥80年代の肉畜を語る 5

⑦80年代の肉畜を語る 3

⑧80年代の肉畜を語る 2

⑨80年代の肉畜を語る 1

肉消費拡大運動が行われております。しかしこの自主調整保管は目に見えない効果があったと思いますが、現状は思うようにはなっていません。

本県におきましては、生産量を前年比一〇・八%（消費拡大〇・八%を見込んで一〇・六%）の割り当てがなされました。これに対する昨年四月から十月までの七カ月間の実績は前年対比一〇・四%と目標を上回っております。従つてこれから残り数カ月間が計画生産の正念場となってきました。そのため、只

今、全県下の計画生産推進体制をつくり、一丸となって目的達成に努めているのであります。

計画生産につきましては豚肉についても同様といえます。昨年八月から値下げし始めた豚肉の卸価格はその後も下げ続け、ついに安定基準価格を大きく割り込みました。昨年十一月一日から低迷する豚肉価格回復のため、自主調整保管と豚

農家にとりましては畜産物の生産コストに大きな影響がでまいります。このよい値上げがされますが、このことは畜産農家にとっては畜産物の生産コストが、この現実を踏み越えて将来に向って榮光をつくらねばなりません。

本年の今一つの問題は、配合飼料価格の大巾な値上げであります。アメリカの有史以来の大増産にもかかわらず、ソ連等の不作、円安による輸入価格の上昇と船賃の高騰が加わり、一月から一五年近く値上げがされますが、このことは畜産

農家にとりましては畜産物の生産コストに大きな影響がでまいります。このよ

うに本年の畜産は一層厳しさを増しますが、この現実を踏み越えて将来に向って榮光をつくらねばなりません。



## 年頭にあたつて

岡山県畜産課長 三村剛

充

きびしい酪農情勢に対処して生乳の需給調整対策と牛乳の消費拡大を重点に実施しなければならないと考えております。

また、肉用牛については、優良雌牛の具内保留対策を更に強化していく一方

肉牛価格安定の充実を図ることも地域の畜産経営の充実を図ることともに地域

内一貫経営を定着させるための適正規模の肉用牛園地の建設を進めていかなければなりません。中小家畜につきましては、

養豚農家の山村地域への定着を進めながら、優良種豚の導入、肉豚価格安定事業を実施し養豚経営の安定を促すとともに、

普及、防疫体制の整備を更に強力に進め、防疫体制の整備を更に強力に進め、疫病の予防、衛生管理の改善向上による損耗防止、生産性の向上に資するための巾広い技術サービスを図っていく所存であります。更にこれらの諸事業を進めいくうえでの実用的な技術の開発に貢献をおき、試験場で確立された技術を普及渗透させ、畜産農家の経営合理化に寄与していく考えであります。又、広域食肉流通センターも五六年操業をめざして推進させてまいります。

これらの諸事業を推進していくうえで、家畜保健衛生所は畜産農家の経営に密着した積極的な対応により、自衛防疫の普及、防疫体制の整備を更に強力に進め、疫病の予防、衛生管理の改善向上による損耗防止、生産性の向上に資するための巾広い技術サービスを図っていく所存であります。更にこれらの諸事業を進めいくうえでの実用的な技術の開発に貢献をおき、試験場で確立された技術を普及渗透させ、畜産農家の経営合理化に寄与していく考えであります。又、広域食肉流通センターも五六年操業をめざして推進させてまいります。

いづれにしても、本年もきびしい試練を覚悟しなければなりません。畜産農家の人々、農業団体、行政機関とが一体となってこの試練を乗り越え、本県畜産の健全な発展を願願しております。

最後に、皆様方のご健勝とご活躍をお祈りして、ごあいさつとします。

そこで、粗飼料生産の増強を中心とした飼料対策を図っていくため、山林原野の開発、飼料畑の造成、水田再編対策に基づく生産基盤並びに利用施設の整備拡

張もおめでとうございます。皆様にはお元気で新春を迎えたことを祝い、謹んで新年のご多幸をお祈りします。

しかしながら一方では、五十二年度から着手してまいりました北海道松野牧場の落成、畜産基地建設調査計画のスタート、蒜山地区ジャーラー導入二十五周年式典が盛大に開催される等、きびしい畜産事情の中にあって、明るいニュースがありました。

特に畜産物の安定的な供給と畜産経営の合理化を図っていくことが肝要であると考えております。

本年は、最近における畜産物の需給並びに価格の動向、畜産経営の動向等、畜産をめぐる諸情勢の変化に対処するための具体的な対策を図っていかなければなりません。中小家畜につきましては、

特に畜産物の安定的な供給と畜産経営の合理化を図っていくことが肝要であるとおもほどのきびしいものがあります。

県におきましても、こうした情勢に対処するべく諸施策を講じておりますが、

畜産においても、昨年は牛乳需給の不均衡による計画生産・豚肉・ブロイラー価格の低迷、配合飼料価格の高騰等、畜産経営にとって予断を許さないきびしい年

でした。皆様ど承知のことと、我が国農業をとりまく諸情勢は、水田利用再編対策による米の生産調整と農地利用の問題、農産物輸入に対する外國からの圧力、更には農業従事者の高令化と後継者対策、原油価格の大巾値上げによる省エネルギー対策等、克服しなければならない数多くの課題が山積しており、かつて経験したことのないほどのきびしいものがあります。

県におきましても、こうした情勢に対処するべく諸施策を講じておりますが、

畜産においても、昨年は牛乳需給の不均

衡による計画生産・豚肉・ブロイラー価格の低迷、配合飼料価格の高騰等、畜産経営にとって予断を許さないきびしい年

でした。皆様ど承知のことと、我が国農業をとりまく諸情勢は、水田利用再編対策によ

る米の生産調整と農地利用の問題、農産物輸入に対する外國からの圧力、更には農業従事者の高令化と後継者対策、原油

価格の大巾値上げによる省エネルギー対策等、克服しなければならない数多くの課題が山積しており、かつて経験したことのないほどのきびしいものがあります。

県におきましても、こうした情勢に対

処するべく諸施策を講じておりますが、

畜産においても、昨年は牛乳需給の不均

衡による計画生産・豚肉・ブロイラー価格の低迷、配合飼料価格の高騰等、畜産経営にとって予断を許さないきびしい年

でした。皆様ど承知のことと、我が国農業をとりまく諸情勢は、水田利用再編対策によ

る米の生産調整と農地利用の問題、農産物輸入に対する外國からの圧力、更には

一九八〇年代頭初の昭和五五年の新春を迎えるに当たり、昨年の酪農苦難の道を省みるとき、五体の引緊まる想いがあるが、この難局を如何にして乗り切るか、

又、この禍を転じて福とするには、どうしたらよいか、八〇年代の酪農について考えてみたい。

#### ◆本県酪農の現状と80年代の酪農

省 治 尾 花 長 会 連 運 酪 農 県 岡 山

#### 当面の対策

本県の酪農も今から二〇年前の昭和四年には、乳牛頭数一三、〇〇〇頭、生乳生産量は三四、〇〇〇トンであり、以降酪農経営の多頭化、生乳生産量の増大が進められ、現在では頭数は四九、八〇〇頭、年間の生乳生産量は一七四、〇〇〇トンと約五倍の飛躍的伸展を遂げ、西日本では屈指の酪農生産県に伸びたのである。

しかし、この間、多くの試行錯誤が行なわれ、三年毎に繰り返したミルクサイクルによる生乳生産の過剰と不足という景気循環の中で生産者乳価の引き下げや引き上げもなされるなど、乳価不安定のために幾度となく酪農危機にも見舞われながら、今日を迎えたのである。

ところが、今日の酪農の現状は、ご承知のとおり、生乳生産の順調な伸びに反し、牛乳消費が今までのようには伸び悩んだため、昨今はついに有史以来というか、未だ曾つて考えも及ばなかつた計画生産に取り組まねばならない程深刻な需

給不均衡時代を招来したのである。

各個別農家の聴き取り調査を行なう。

#### ◆一九八〇年代の本県の酪農

農林水産省の農政審議会は八〇年代の中間報告を纏められたが、これは『需給・価格』『構造・農村整備』『流通・加工』の三つの部門にわけて検討が重ねられたものである。厳しい現在

本年度本県の計画生産割合量は前年対比一〇一・八%となっているが、これまでの生乳生産実績みると、四月一〇月間では一〇四・四八%で、過剰となつているが、九月には一〇一・五一%、一〇月には一〇一・二%と目標以下となり、漸く計画生産の意識が全般的に浸透して来たことが伺われて來ている。

しかし、昨年度当初の四ヵ月間が大きく超過しているため、これから十一月以降五ヵ月間が愈々正念場になって来て來るのである。このため、日々の牛乳生産動向を十分把握し、最終的には目標が達成できるよう、牛乳生産の抑制計画を進めて行かねばならない。

本県での抑制策としては、①低能力牛の淘汰を十分把握し、最終的には目標が達成できるよう、牛乳生産の抑制計画を進めて行かねばならない。

## 80年代の畜産を語る

### 80年代の養鶏を語る

池 田 隆 政

わが国の養鶏は、国民栄養食品の重要な供給源として幾多の困難な時期に遭遇しながらもこれをどうにか乗り切り、大きな産業として発展を遂げてきております。

このように養鶏が発展して参りましたのは、養鶏生産者の並々ならぬ努力は勿論であります、諸面向亘る生産性の著しい向上と経営の必然的な構造改善合理化等が地味ではあるが養鶏諸施策の推進と相俟って逐次進展し、今日の養鶏を築いてきたと考えます。

したがって、課題の80年代の養鶏を語るに当つて極めて大胆で、かつ粗雑であつてきましたと考えます。

まず今後を語る前提として、70年代の過去十年間の採卵業界を少し振り返つて見ますと、採卵鶏の飼養羽数は十年間ほとんど増減していないということです。

この傾向は鶏卵の生産調整が施策なし

されると、飼農経営の規模拡大は、長期的にみると更に進められ、平均的頭数は三〇頭前後と予測される。

一般の食生活では、牛肉需要の増加が更に進み、酪農経営にも肥育部門を取り入れられるものも出ると思われるので、肉の生産性の高い乳牛への改良も要望されるであろう。

一般的な産業としては発展を遂げております。

今後の酪農経営は、牛乳の需要に見合った計画生産が必要になるが、このためには、自給飼料のサイレージ化により、粗飼料の平衡給与体系を確立するなど、飼養管理、飼料給与の合理化、省力化を図ることとも、集団化によって休日ある経営にするなど人並の社会的生活も出来るような方向に進むべきである。

### あなたの畜産経営に奉仕します

新発売飼料フレークフイード（乳牛、肉牛用）  
配合飼料、コーンジャム（とうもろこし胚芽油粕）、脱脂大豆、菜種粕



加藤製油株式会社

大阪・岡山・名古屋・高松・下関

事 業 所	本 社 工 場	大 阪 市 此 花 区 梅 町 2 丁 目 1 番 16 号	〒 554	電 話	大 阪 (06) 462-0101
	名 古 屋 工 場	玉 野 市 築 港 5 9 6 3	〒 706	電 話	玉 野 (0863) 31-2222
	高 松 工 場	名 古 屋 市 港 区 港 阳 1 丁 目 1 番 82 号	〒 455	電 話	名 古 屋 (052) 651-7411
	下 関 営 業 所	高 松 市 郡 東 町 宇 乾 新 開 792-10	〒 760	電 話	高 松 (0878) 82-1888
		下 関 市 中 之 町 10-3	〒 751	電 話	下 関 (0832) 22-8141

### 80' 年代の畜産を語る

## 本県酪農の現状と80年代の酪農

岡山県酪連会長 花尾省治

#### ◆本県酪農の現状と

#### 当面の対策

各個別農家の聴き取り調査を行なう。

#### ◆一九八〇年代の本県の酪農

農林水産省の農政審議会は八〇年代の中間報告を纏められたが、これは『需給・価格』『構造・農村整備』『流通・加工』の三つの部門にわけて検討が重ねられたものである。厳しい現在

難な問題であるが、現状分析に立って長期見通しを樹てている。

これからの本県の酪農も、わが国の酪農の消長と同じことといえるが、牛乳の伸びは從来のような高いものは見込めないであろう。しかし、外国にくらべ、生乳や乳製品の消費量が少ない（約五分の一）でまだ潜在的需要があると思われる。

さらに幼稚園児、妊娠婦、老人、一般消費者等の消費量を拡大することが期待出来よう。いま、国民の栄養摂取量の調査によると、カルシウム、ビタミンA・Bなどの消費量を拡大することが期待出来る。

農業省の消費量を拡大することができねばならない。又、最近、チーズの消費

が不足しているので、学校給食を伸ばさねばならない。

さらに幼稚園児、妊娠婦、老人、一般消費者等の消費量を拡大することが期待出来る。

これらのため、牛乳の計画生産推進対策の事業として、生乳生産の予測をするために「五十四年度生乳生産予測分析のための実態調査」を行なう。すなわち、牛乳消費が今までのようには伸び悩んだため、昨今はついに有史以来というか、未だ曾つて考えも及ばなかつた計画生産に取り組まねばならない程深刻な需

求が著しいことから、国産チーズの生産拡大も可能であろう。

一方、酪農家の側からみれば、飼料自給は、その機械化によって水田の利用度を高めることにつとめれば、なお増産は可能となる。しかし、酪農家の戸数は、現状より減少して行くと思われるが、経営主の世襲的傾向も強められるので、一〇年後でも一〇〇〇戸を割る程度と予想

される。これに対応する全国的なボーダーの設立が、これまでの生乳生産予測分析のための実態調査」を行なう。すなわち、牛の内訳、導入牛と廃用牛の実態等）、③後継者の牛舎収容可能頭数等について、

動向にも左右されることになるので、これらら困難な試練にも耐え得るような省力的で安定した確固たる経営を打ちたてる

ことにしておこう。

一方、酪農家の側からみれば、飼料自給は、その機械化によって水田の利用度を高めることにつとめれば、なお増産は可能となる。しかし、酪農家の戸数は、現状より減少して行くと思われるが、経営主の世襲的傾向も強められるので、一〇年後でも一〇〇〇戸を割る程度と予想

される。

て本格化し飼養羽数の凍結が実施された  
70年代後半もそれ以前も変りがありませ  
ん。

一方、飼養羽数は毎年著しく減少をた  
どつておりまして四六年は、百三十六万  
八千戸であったのが、五四年は二十四万  
戸と約十年間で、一八%に激減していま  
す。

次に飼養規模を現状でみますと、一万  
羽以上の規模は、戸数では一千六百五十  
戸、飼養羽数は七千百万羽となっており  
まして、また五千羽以上二万羽未満の規  
模は、戸数では三千百戸、飼養羽数は二  
千百万羽であり、この両者の計で戸数は  
五千七百五十戸（全体のわずか二・三%）、  
飼養羽数は九千三百戸（全体の七四%）  
となります。この五千羽以上の飼養規模  
の方の戸数変動は生産調整実施下にあり、  
大きく変っておりませんので、飼養戸数  
の年をおっての激減は五千羽未満に集中  
してきているのであります。

## おかやまのうし

阿新地方振興局

天野省吾

十年一昔と云われるが、本当に十年が経過するのは早いものであり、世間の変貌も激しいのは目を見張るばかりである。過ぎた昔を忘れるのは人の常なり。

岡山の牛も歴史的な流れに押され現状の姿になったことは否定できない事実である。若い人は牛と云つても余り興味を持たない人も多いと思うが、以前は各農家には最低一頭の牛が役用として飼育されていたものである。

岡山県の二十年前は和牛はどうだったかと考えるとき年配の方は色々と思い出されようが戦後生れ的人には想像すらできないのでなかろうか。偶々書類の整理中に二十一年前の昭和三十三年（一九五八年）に発行された「おかやまのうし」という小冊子を見付けたので当時の状況を紹介する。

岡山の和牛の説明に、「古くから一千屋牛」「新庄牛」「加茂牛」などの名で全国に親しまれている。安永年間（天保初年）阿折郡で浪花千代年が牛の育成に努め、わが国で最も古い竹の合蔓牛を創り出した。これも調教と兼ねて牛の管理の日課であった。

冊子には牛肉の説明もあり、岡山牛の資質は顔、角、肢、蹄など肉質に関係深い体の部位によくあらわれていますが、最近ではこのうえに更に皮毛の改良が進んで肉質も一段と改善され好評を博しています。と資質の改良が検討された経緯が分ります。

千屋当時の和牛試験場の全景写真と業務として特に興味のある点は当時精液輸送用伝書鳩「ターミナル」なる鳩小屋が設置されていたことです。以前はスピードで人工授精を行っていたが、この当時にはストローが使われるようになっており、魔法瓶に水を詰めて自転車で泡りかけて市郡内を種付けをして走廻っていた姿を思い浮べる人と、そんなことをしていたのかと思ふ人の世代の差を感じる餘になつた?のだと思ふ小生である。

長くなつたが冊子の後記として、県外のみなさまはもとより県内のみなさ

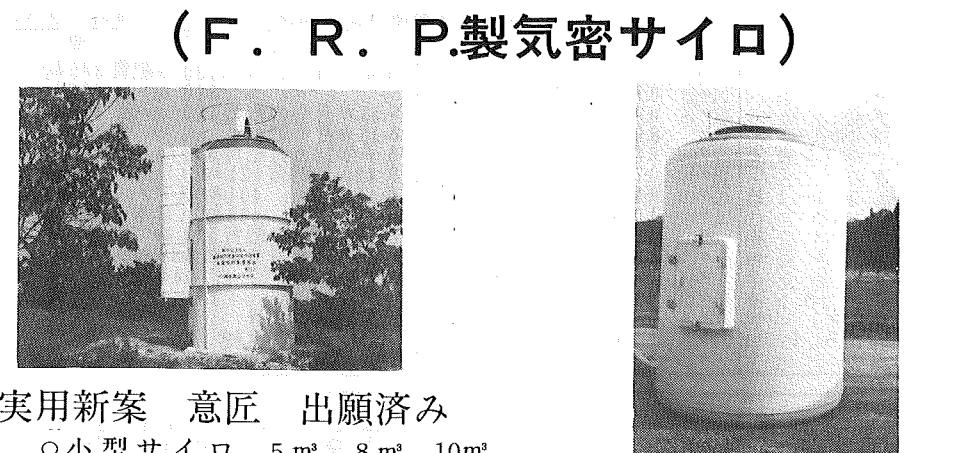
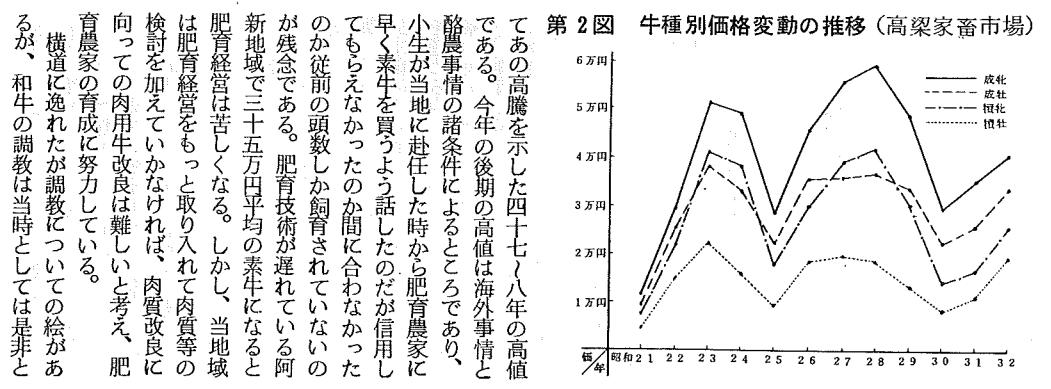
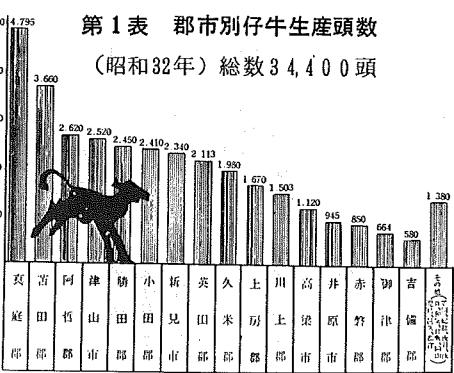
たことは余りにも有名である。現在総頭数は十一万頭で五万六千頭の繁殖牛から年間三万四千頭の犠牲を生産している。最近一年間に一万八千頭が全国二十五府県へ移出されてそれぞれの地方の和牛の改良に或はまた肥育の素牛として役立っている。なお県内においては一万三千頭がと殺され県民への重要な蛋白供給源となっている。

因に、昭和三十二年の仔牛生産頭数三万四千四百頭の市郡別の内訳は第一表に示してある。

県北は生産地帯で四万七千ヘクタールの牧野が展開し、県中部は育成地帯、県南部は肥育地帯と区分され、県下三大河川吉井川、旭川及び高梁川の広大な河川敷の放牧風景の写真があり川の中を四十頭位の牛が遊んでいる長閑かな姿が見受けられるが、現在では住民から公害として大きく騒がれるところであり時代の差を痛感せざるを得ない。

家畜市場も一般市場が県下十一ヵ所のうち阿新には新見、千屋、上市の三ヵ所が開設され当時の盛況が伺われる。現在も当時の状況が維持されているなら産業としての期待を担うことができるものと一抹の寂しさを感じざるを得ない。牛の価格のサイクルは、アメリカでは十一年と云われている。日本では十年のサイクルで変動していると小学生は農家に話しているのだが……。

第二表は昭和二十一年から三十二年の高梁家畜市場の価格の推移が示されています。昭和二十七七八年の高値と、読者の記憶



### 実用新案 意匠 出願済み

- 小型サイロ 5m³, 8m³, 10m³
- タワーサイロ 12m³, 20m³, 32m³, 42m³, 50m³, 68m³
- タワーサイロ (トップアンローダ) 80m³, 100m³
- 畜産資材 F.R.P製飼料タンク, 一輪車, 飼槽, ライニング工事

### タカシ産業株式会社

工場 岡山県真庭郡落合町上河内627 TEL 08675 ⑤2211(代)  
札幌(営) 札幌市白石区南郷通り18丁目北25 TEL 011 862 6627  
住友化学中央研究(技術協力)

名 号	第11系谷号	登録番 号数	黒原 黒高 黒育	135 (84.05) 608 (81.7) ( )	生 年 月 日	S 47. 1.28 生	産 地	新見市管生 成 績	0.94 +3.1
0.75 0.23	千代田 黒	5365 (79.34)	第六清国 黒高 31	第三仙貫予岡 323 第三かち予岡 3811 岡保予岡 370 第三ともゆき予岡 1268 第六荒神本黒 383 第五まつさこ予岡 5589 第二愛徳継本 34 第三おもだ予岡 501 田竜本黒 1848 第五しんぶく本黒 11106 第六荒神本黒 383 第三みのり本黒 2840 はつひめ五 黒高 555	383	第二仙貫予岡 323 第三かち予岡 3811 岡保予岡 370 第三ともゆき予岡 1268 第六荒神本黒 383 第五まつさこ予岡 5589 第二愛徳継本 34 第三おもだ予岡 501 田竜本黒 1848 第五しんぶく本黒 11106 第六荒神本黒 383 第三みのり本黒 2840 はつひめ五 黒高 555	383	第二仙貫予岡 323 第三かち予岡 3811 岡保予岡 370 第三ともゆき予岡 1268 第六荒神本黒 383 第五まつさこ予岡 5589 第二愛徳継本 34 第三おもだ予岡 501 田竜本黒 1848 第五しんぶく本黒 11106 第六荒神本黒 383 第三みのり本黒 2840 はつひめ五 黒高 555	383
第十一松田 黒 黒育	たわづる五 黒	395669 (77.81)	第四下前 黒高 46	第十神福黒高 17 第三みのり本黒 2840	17	第十神福黒高 17 第三みのり本黒 2840	17	第十神福黒高 17 第三みのり本黒 2840	17
ゆきひめ 黒 黒育	千代田 黒	5365 (79.34)	はつひめ五 黒高 555	第六荒神本黒 383 第五まつさこ予岡 5589 第二愛徳継本 34 第三おもだ予岡 501 宝栄本黒 5 第三はつはな黒高 17 第二仙貫予岡 323 第三かち予岡 3811 岡保予岡 370 第三ともゆき予岡 1268 第六荒神本黒 383 第五まつさこ予岡 5589 第二愛徳継本 34 第三おもだ予岡 501 第十神福黒高 17 第三みのり本黒 2840 第四よしてる黒 95806 第一きよひめ 黒育	35	第六荒神本黒 383 第五まつさこ予岡 5589 第二愛徳継本 34 第三おもだ予岡 501 第十神福黒高 17 第三みのり本黒 2840 第四よしてる黒 95806 第一きよひめ 黒育	35	第六荒神本黒 383 第五まつさこ予岡 5589 第二愛徳継本 34 第三おもだ予岡 501 第十神福黒高 17 第三みのり本黒 2840 第四よしてる黒 95806 第一きよひめ 黒育	35
ゆきひめ 黒 黒育	千代田 黒	5365 (79.34)	第二難波 黒 5387	大茶黒高 46 第三よしてる予岡 15455 第一藤山黒 4442 第一ふじ黒 66895 いなだ黒育 209	46	大茶黒高 46 第三よしてる予岡 15455 第一藤山黒 4442 第一ふじ黒 66895 いなだ黒育 209	46	大茶黒高 46 第三よしてる予岡 15455 第一藤山黒 4442 第一ふじ黒 66895 いなだ黒育 209	46

この奥松は、兵庫の奥谷系に属する奥谷を岡山の雌に交配して生産されたもので、父奥谷は、資質良好(DG)・七十六十四・三)で肉質の遺伝力は強いと云われていたがやや小格であった。母の第一種雄牛としては、ほかに仙守三、糸藤守などがけい養されている。

## 二、奥

松

付しようとする雌牛の系統に第一系谷と同じように千代田、第八清国、第六荒神といった優良な種雄牛が何本も入っている場合、この方法が成立してよい子が生まれてくる確率が高くなる。また準系統間育種による方法、すなわち種付しようと体積に富む資質のよい子牛が生まれたまっている場合、この種雄牛を種付することを三代も続けると、優秀な因子は散り散りになり遺伝上の影響はなくなり、牛は、県内に多く飼養されていると思われるが、このように系統的にかたまつての希望らしい。系統繁殖により産した種雄牛としては、ほかに仙守三、糸藤守などがけい養されている。

## 和試のページ

# 種雄牛の紹介と支配方法について

岡山県和牛試験場 川西昭一

牛が家畜化された歴史は古く、今から約一万年前と云われている。当時発達した農耕村落であるチグリス・ユーフラテス、ナイル、インダスなどの大河の流域において野牛の子牛を捕獲して、人の生活と共に成長し繁殖されたものと思われている。その後、役用から乳が利用されるようになり更には財宝とされ貢ぎ物としても利用されるに至った。また、旧約聖書には肉も利用されたことが記載されが今日なお残されている。このように癡祥地中近東を中心として家畜化された牛は、各国に多くの伝説を残して世界に拡がっていったと云われている。

わが国には牛は原産せず、渡米した経路は大陸と南方からと云われてきた。しかし、和牛の血液型の特定遺伝子の頻度から推定すると最近では、北方起源説が定説となりつつある。これらが土着してわが国の在来種となり、これにヨーロッパの牛を交配して改良がなされてきた。その後、更に和牛の経済的な遺伝形質の改良が選抜淘汰のくり返しにより進められ、今日の和牛ができるがった。このことは、昭和五十二年に開催された第三回全国において証明されている。このわが国獨得の和牛の産肉性と外国の肉用種、乳用種との能力を比較すると次のとおりである。すなわち、和牛の能力をこの表でみると若干の低評価は否めない。し

和牛(黒毛和種)と外国種の産畜関係				資料	世界の牛要
品種	産肉性	枝肉	歩留	摘要	
黒毛和種	DG 0.9 kg	59.0%	♂ 6カ月令のもの 130日肥育 385kg		
"	" 0.78	61.3	♀ 6カ月令のもの 330kg 465kg		
"	" 0.90	58.6	♂ 15カ月令肥育 130kg 486kg		
シアバーディ	9.0	66.0	♂ 15カ月令肥育 392kg (日本成績)		
"	0.8	64.0	♀ 15カ月令肥育 421kg (アメリカ成績)		
ヘーレフ	0.76	58.7	♂ 16カ月令肥育 401kg (日本成績)		
"	0.83	62.2	♀ 16カ月令肥育 433kg (アメリカ成績)		
デシ	1.03	60.0	♂ 15カ月令肥育 544kg (日本成績)		
ホジブ	1.25	63.0	♀ 15カ月令肥育 580kg (アメリカ成績)		
"	1.30	60.0	♂ 15カ月令肥育 544kg (日本成績)		
"	1.43	60.3	♀ 15カ月令肥育 544kg (アメリカ成績)		
"	1.10	57.0	♂ 15カ月令肥育 544kg (日本成績)		
"	0.71	52.0	♀ 15カ月令肥育 544kg (アメリカ成績)		
"	1.10	59.0	♂ 15カ月令肥育 544kg (日本成績)		
	1.20		肥育期間 378日		
			期間体重 500kg		
			日間肥育 365日		

かし間接検定法改正(期間三〇一日)以降に検定された一七頭の種雄牛の去勢産子六七六頭についての脂肪交雑と一日当たりの増体量との分布をみると、一日平均増体量は〇・七五kg～〇・九四kg、脂肪交雫は、+2～+3までの間のものが最も多くモードは〇・九〇～〇・九四kgの範囲にある。また、枝肉歩留についてみると、昭和四十六年度の検定改正以来向上してその歩留は、六三・〇%～六四・〇%を示しておりこれらから判断するところが國獨得の和牛としての位置づけはもとより、世界の肉用牛(和牛)としても立派に通用すると思われる。

さて、このわが國獨得の和牛を更に育種的に改良を加え、ツルタイプの体型に近づけるとともに、あわせて能力の向上をねらう目的として種雄牛側からその造成法について簡単に説明し、四頭の種雄牛の交配方法についてのべてみます。

## 一、第一系谷

和牛試験場にい養している種雄牛の造成法は、形質間系統繁殖(父母両方に体積と資質ラインがある)により生産されたものが多い。この第一系谷も厳密に云えばこれに属するが、しかしこの場合には系統繁殖による產とみるのがよろう。この種雄牛を用いてよい子牛を生ませるにはどのような交配をすればよいのか、この場合は二通りある。その一つは系統繁殖による方法である。つまり種雄牛を用いてよい子牛を生ませるにはどのよ

謹賀新年  
昭和55年元旦

社団法人 岡山県獣医師会

岡山市下中野499-3 TEL 43-1879

名 号	新守土井		登録 番号	黒原 黒高 黒育	587 ( 82.2 ) ( ) ( )	生 年 月 日	S 52. 6. 5 生	産 地	阿哲郡大佐町	成 績
守 黒 黒高 黒育 (80.20)	1		第 二 黒 6844 (78.44) 黒高 131 (79.52) 旧 0.84 +2.3	明 石 5387	第二 難波 黒 第一 あかし 黒269819	第四 下前 黒高 95806	46	第十 神福 黒高 第三 みのり 本黒 大茶 黒高 第三 よしてる 予岡 第六 清国 黒高 31	17 2840 4 15455 383 1885 358 17241 2003 15180 1166 12717 5874 68532 7412 第二 さつき 仙 隆 第一 こ世 仙 隆 7412 黒767334	17 2840 4 15455 383 1885 358 17241 2003 15180 1166 12717 5874 68532 7412 340867
④ 0.90 +3.4			か み 黒901608 (78.00) 黒高 6407 (77.92) 黒育 178 (79.60)	仙 隆 黒7412	第五 盛山 黒 第一 こ世 仙 隆 仙 隆 黒767334	第五 盛山 黒 第一 こ世 仙 隆 仙 隆	5874 68532 7412 7412 340867	第 十四 仙 真 や す は な よ か 宮 よ か 第五 盛山 黒 第一 こ世 仙 隆 第二 さつき 仙 隆 仙 隆 第七 あ つ さ つき 黒 69123	2003 15180 1166 12717 5874 68532 4433 69123	
かねはぎ 黒原76826 (817)			菊 則 土 井 黒育 82 (80.7) ④ +3.6	美 土 井 黒育 5 た ま る 黒491064	田 尻 予兵 1507 きくよノ一 黒育 119 熱 土 井 黒高 18 くにもり 黒 222015	1507 119 18 222015	第 十四 茅 野 補 美 ふ く 江 補 美 金 丸 本 黒 き ち 美 予 兵 門 芳 黒高 こうふく七 本黒 57 富 林 黒 くに 芳 黒 2853 29608 茂 光 予 兵 つ ね 美 本 黒 金 多 黒 た つ 本 黒 華 重 予 兵 は ぎ の 予 兵 茂 福 黒高 22 108 3381 よりふく 〃 146594	1451 2945 1738 9921 14 57 2853 29608 1869 1473 4343 13343 1872 8765 22 79		
		よ し ふ く 黒896234 (77.20)		茂 金 波 黒育 7 は ぎ 黒348138	茂 福 黒高 22 た つ み 黒育 108 萩 重 黒 3381 よりふく 〃 146594	茂 福 黒高 22 た つ み 黒育 108 萩 重 黒 3381 よりふく 〃 146594	茂 福 黒高 22 た つ み 黒育 108 萩 重 黒 3381 よりふく 〃 146594	茂 福 黒高 22 た つ み 黒育 108 萩 重 黒 3381 よりふく 〃 146594	茂 福 黒高 22 た つ み 黒育 108 萩 重 黒 3381 よりふく 〃 146594	

名 号	奥 松	登 録 番 号 等 級 数	黒原 黒高 黒育	191 ( 802 ) ( ) ( )	生 年 月 日	S 4 8 . 1 . 2 生	産 地	阿哲郡大佐町	成 績	☆ 1.11
		④	奥城土井	奥土井 黒 2263	田 尻 予兵 150					
		奥城土井	黒高 75	おけい本黒 8013	あ さ 本黒 1789					
		0.76 +4.3	黒 6812 (78.61) 黒育 4 (77.91)	か ず 城 江田黒 995	城 清 予兵 165					
奥 谷	黒 (88.19) 黒高 (78.40) 黒育 (78.46) (80.01)	第三よしこ	黒育 59	ま ん 補城 2193	お ふじノ二 予兵 4700					
			奥土井	田 尻 予兵 1507	よしなさ 予兵 6822					
			黒 2263	あ さ 本黒 7899	ま 第三浦上 予兵 872					
			黒育 61 (77.82)	城 清 予兵 1656	第十四茅野 予兵 1450					
				本黒 7899	とらこ三 予兵 3929	ふ く 予兵 2941				
					とらこ三 予兵 3929	城 清 予兵 1656				
						とらこ三 予兵 3929	とらこ三 予兵 3929			
		④	第六清国	第六荒神本黒 383	第 二 仙 真 予岡 323					
		千代田	黒高 31	第三きよくに 黒高 8	さ か わ 予岡 3811					
第二どい	黒H 12707 (77.60)	黒 5365 (79.34) 黒高 78 (77.63)	第八ひより	第七佐伯本黒 1755	岡 保 予岡 370					
			黒 76647	第十おもだ 予岡 2807	第三ともゆき 予岡 1268					
			第一どい	第八長岡黒 4866	第六荒神本黒 383					
			黒 7571	第二すぎはな 黒 108952	第五まつざこ 予岡 5589					
				第二ひだ	第二二愛徳 稲本 34					
				黒 518050	第三おもだ 予岡 501					
					清 谷 黒高 38					
					ながおか 黒高 341					
					山 黒 1437					
					第三かねけ 本黒 3416					
					第四下前 黒高 46					
					第四よしてる 黒 95806					
					第四下前 黑高 46					
					第九ちたけ 黒 69491					

この種雄牛の供用開始は、昭和五十五年五月以降になる予定であるが今年度の県購入牛で、経歴は昭和五十四年、県共進会優等賞、特に被毛がすぐれている。

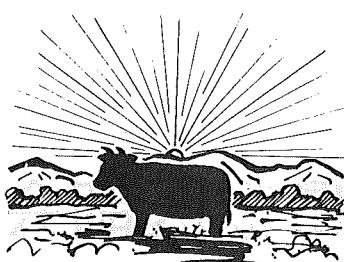
三、新安、土井

に種付すると形質間系統繁殖によりよい子牛が生れる確率が高くなる。例えば、奥繁、福冨、渡辺などを父にもつ雌牛がこれに該当する。

### 三、新守土井

この種雄牛は、昭和五十四年度、岡山県經濟連から受託牛として和牛試験場にけい養している牛である。

父、守一はよくご存じのとおり太茶の系統繁殖により産したものであり、一方母方の祖父菊則土井は、菊美系の始祖である菊美土井の子でこの系統は、兵庫の牛としては大柄で、伸び被毛ともにすぐれたものをもっている。母かねはぎの体高は現在二一七cm前後あり、兵庫の資質と岡山の体積（守一は資質ラインと云わるが）のかけ合せによる準系統間育種の一例である。父母の系統から判断すると資質の遺伝力が強いことが想像される。この種雄牛を用いてよい子牛を生まれさせる交配方法は、形質間系統繁殖による方法がよい。これには、福冨、奥繁、奥繁、渡辺などを父にもつた雌牛に種付するとこの方法が成立してよい子牛が生産され率が高くなる。



この種雄牛の造成法は、形質間系統繁殖によるもので、体積と資質の両ラインの遺伝形質を持つてゐると思われる所以、種付しようとする雌牛も同じように体積と資質の両ラインを持つてゐるような牛を選ぶのがよい。それには、渡辺、奥松、福富などを父にもつ雌牛が該当する。そのほか今日紹介しなかつた種雄牛で優秀なものがそれぞれの育種的方法により生産され、和牛試験場にけい養されているので自分の雌牛の血統を五代祖まで調査して、交配方法にあつた種雄牛を選定し、種付することが望ましい。

## 連載 第七回 私の趣味

# 我が趣味の遍歴

県酪連顧問 牧 質 雄

私は趣味の浮気性なのか何にでもかじりついてみたくなる性質がある。陸上競技、スキーや水泳、野球、ゴルフ、剣道などのスポーツをやって見たがどれも駄目、多少なりとも自信めた(知っているという方が適当)ものがあるとすれば水泳と剣道だろうか。

私が四・五才の頃描いた絵が親せき、知人の間ではめられ、おだてられては書き、書いてはおだてられていい気になり子供心に、僕は将来絵描きになろうと思つたのだからお笑い草である。親せきの年寄りが床につき長くはないということで写真もとれず寝起きを紋付き羽織姿の肖像画を描くはめになり、なんとか仕上げたのが病みつきとなってしまった。

平行的に当時の書道大家と云われた中村春堂先生に通信教育で習い昇級昇段する毎に喜んだものだが今考えると冷汗ものである。支那事変から世界大戦に拡大する頃ハイオリンやギターに手を染めたが性に合

い書とはこんなにもむづかしいものかと思うようになった。

普通には形が整い奇麗な静的な字がいいと思うのであるがこれは初步的なもので作品にはならない。この当たりから所謂書の壁に当りむつかしいと感じてくる。

さて、我が国に文字が渡来したのは

応神天皇十五年に百濟から阿直岐が来朝し太子菟道雅郎子に学問を講じその翌年博士王仁が來朝し伝えたと古事記(和銅五年、七二二年)や日本書記(養老四年、七二〇年)に書かれている、その後三百

年ほど経た推古天皇の時代に留学生、留学僧が中国に渡り隋、唐との文化交流が盛んになり中国の書道が直接日本に来るようになり年と共に日本独自の書道が生れたのであるが「かな文字」の誕生につてもついで触れてみたい。

かな文字は漢字の音や訓または意味を借りて国語に置き替える方法がとられて誕生したものである。従って奈良時代は漢字の楷書行書をもって万葉がなどして使われた。楷書体を真がんといつらを

苦しみさえ伴うものとは露知らずに…。いろはのいの字(いの字だけでも数十通りの書風がある)から始まり姿がなに進み更らに連綿(連続法)の仕方など

の基礎的手法から散らし書きに入るに従前後して申訳けないが草がな、平かな

総称して男子(おのこで)という、更らに草書体(草がな)に移行、ついには最も簡略化した女子(おんなで)に展開し

書道への転換でもあり、これが一面ではいるものも少くなく、複写技術の進歩のお陰で複製本も多く市販されている。これ等を概ね百回見て書く(臨書という)と、まあまあ分つてくると云われるから

氣の遠くなる程の勉強精進が必要となる。

## 昭和五十五年度学生募集のお知らせ

募集人員 四〇名

受験資格

○中国四国の各県および兵庫県(構成県)に居住する者、または構成県以外に居住する者であっても、将来自立酪農経営者となることが確実であると校長が認めた者(男女を問わない)

○高等学校を卒業した者、または高等學校卒業と同等以上の学力を有する者。

受験手続

願書受付期日

○昭和五十四年一二月五日～五五年一月三〇日(推薦入学)

○昭和五五年一月一日～五五年二月一五日(一般入学)

提出書類

入学願、履歴書、住民票、身体検査書

最終学校の卒業または卒業見込の証明書及び成績証明書、写真(上半身)受験料(三〇〇〇円)

送付先



## 牧野勉氏農林水産祭天皇杯受賞

昭和五十四年度農林水産祭天皇杯が、

農産園芸畜産など七部門の、四集団

三氏に送られたが、邑久郡長船町の牧野

勉氏(コンサル会会長)が畜産部門で受

賞された。

天皇杯は、毎年農業経営や技術など、

優秀な成績をおさめた農家や集団に贈ら

れる最高の栄誉である。

牧野氏の場合は水稻プラス酪農の経営

であるが、この四十年間、「なぜの信条、貫く根性」をモットーに、優良系統牛群

づくりと、水稻酪農の困難な飼料自給に心血を注ぎ、地域振興のための集団借地

による飼料圃を基盤とした水稻酪農を確立し、水稻再編の模範ともいえる事例で

ある。また畜産のふん尿処理にも意欲的に取り組まれ、独特の曝気方式により、畜産公害を解決し、また施用限界の研究を行なうなど、多くの功績を残された。こ

は平安時代に入つてから万葉がなが略体化されて誕生したのである。

当時の女性は漢字を学ぶことが許されなかつただけではなく漢字を当てて文を書くこともできなかつたようである。これでは恋しい殿方への恋文や恋歌をつくつてそつと差し出すこともできない。やむなく婦女子はやさしい草書を和文にあてさらに簡略化した平かなを作り、思いを遂げたのである。この平かなを女子

といつて触れてみたい。それで、時代の名手(紙を作る人、製本をする人、能筆家)に依頼して善美をつけた製本の料紙に古今集を書きして、古今集に通じよい和歌を詠むことが女性

に課せられた最高の条件であった。そして古今和歌集を深くしなむことが要求されるたし、琴をよくし、よい手を書き、

古今集に通じよい和歌を詠むことが女性

は平貴な姫君のお輿入れの調度の一つとしてたのである。だから書き手も名手が輩出

した。平安時代に入り嵯峨天皇、空海、橘逸勢の三筆により日本書道も新しく飛躍開発し、平がなも平安時代初期にはほぼ完成し女性専有から一般的にも使用された。

高貴な姫君のお輿入れの調度の一つとしてたのである。だから『かな書道』ではこの女子のかなと行草書体のもの(愛体がな)を総称して「かな」と呼ぶのである。

総称して男子(おのこで)という、更らに草書体(草がな)に移行、ついには最

も簡略化した女子(おんなで)に展開し

に草書体(草がな)に移行、ついには最

## 検定済種雄牛期待どおりの活躍

検定済種雄牛が50頭近く作出されました。

お蔭様でその認識が日々深まっています。

岡山県の利用率は〔4月～10月〕39%に達しました。

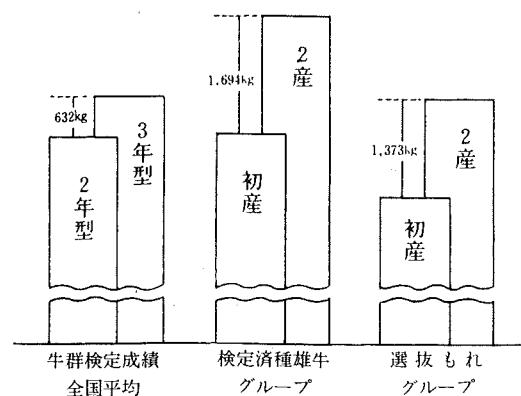
そして、検定済種雄牛の娘牛は、

期待どおりの活躍をしています。

### 娘牛の初産次と2産次の

#### 乳量差をご覧下さい

払下げ先の初産次と2産次の乳量差  
(第1期牛)



左図は、乳用種雄牛選抜事業の第1期(P46)の後代検定材料となった娘牛が検定場から農家に払い下げられて後、2産次でどのような成績を上げているかを検定済種雄牛グループと選抜もれグループに分けて比較したものです。

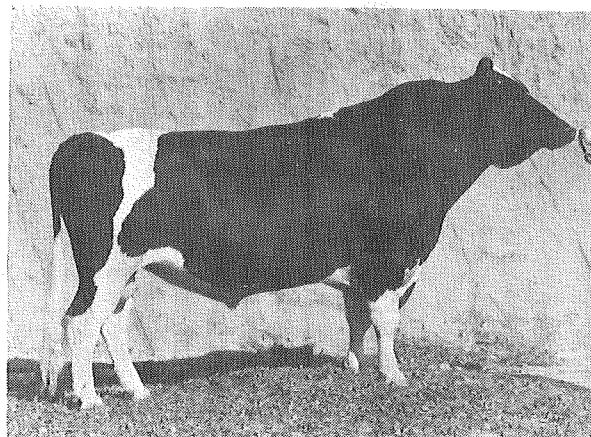
これによりますと、払下げ先農家の2産次乳量は、検定済種雄牛グループで初産次よりも約1,700kg、選抜もれグループで1,400kg近い増加を示しております。

ちなみに、昭和53年度の牛群検定事業の検定成績は、2年型では全国平均で約5,500kgであり、図のとおり検定済種雄牛グループの初産次乳量とほぼ近似の成績ですが、3年型との乳量差は632kgにとどまっています。

家畜改良事業団岡山種雄牛センター

乳量よし、乳器よし、肢蹄よし。

—これほど理想的な種雄牛がかかるだろうか—



検定済種雄牛

49-17-N

ミソノ マスター ロラ ポンチャク

生年月日 48.10.3

登録番号 44495

測定値 (6才)

体高 163cm

体長 198cm

尻長 66cm

胸围 248cm

〈後代検定成績〉(検定期間 53年6月～54年7月)

同期比較値		娘牛の体型上の特徴	
乳量	+ 251.9 kg	良い点	注意すべき点
乳脂量	+ 7.9 kg	乳用牛の特質に富む。 肢蹄が良い。 乳房の形状が良い。	せん骨の高いものがある。
無脂固体分量	+ 27.1 kg		
乳脂率	- 0.03 %		
無脂固体分率	+ 0.09 %		
能力指数	+ 6.9		
搾乳速度	- 0.10kg/分		
前後乳房乳量比	42.3 : 57.7		

#### 血統

##### ヘイセン フィールドマスター

38985 A R 1531

レーグフィールド フォンド ホープ

1243697A EX-93-GM

スプリング ファーム フォンド ホープ

2923000A 21230C EX-ST

娘牛 786頭平均能力 (成年型 305日 2回)

M7,083 F263 3.7% I 117

娘牛 383頭平均体格得点79.9点

レーグフィールド フォーブス ティライ特

323265A EX-92

デタート ビーコン インカ ミストレス

3184976A EX-95

ウイックス バイロット ミストレス ビーコン

1033578A

7-9 365 3X M11,805 F548 4.7%

デタート インカ ダンロッキン

2892586A VG-GM

ロラ ポンチャク ジェマイマ ミソノ

687810 A R 108977

82.0

レカ ローヤル ジェマイマ ミソノ

36064 A R 303

89.0

2-4 303 2X M6,937 F286 4.11% I 249

3-5 305 2X M7,933 F292 3.68% I 224

4-11 305 2X M8,646 F299 3.46% I 204

6-0 305 2X M8,959 F329 3.67% I 221

8-9 305 2X M8,515 F321 3.76% I 226

M7,956 F295 3.7% I 165

岡山県畜産共進会に学ぶもの

葉山六藏

県共進会も、もう三十五回目なのかなといしさか感極深く津山市の会場に足を運びました。天候も共進会日和りとでも申しましようか。照らず降らず、暑からず寒からずのなかで、共進会常連の方々の顔もみえ、総体審査、個体審査、そして比較審査と定石どおりに進行し、めでたく、褒賞贈呈式も終了、出品者の方にも主催者の方にも、本当にご苦労様でしたと申しあげたい気持ちでした。

ところで、ホルスタイン種の出品牛の四〇頭について、目録の父牛を見ますと、随分いろいろな種雄牛がおり、初めてきくような名前もありますので、一寸腰をおろして一服しながら、その頭数をかぞえてみました。

するとローマンデール、カウント、クリスタンの娘が最も多く七頭、次でアグロエーカス、シュー・ブリームが五頭、そして娘四頭が一頭、三頭が一頭、二頭づつが三頭おり、娘を一頭づつ出品している種雄牛がなんと一頭もおられます。これまで父牛別に比較検討するなどとても

表 1 種雄牛別出品娘牛年度別頭數

年度 娘牛頭數	50	51	52	53	54
7頭	0	0	0	0	1
5	0	0	0	1	1
4	0	0	1	1	1
3	1	0	0	1	1
2	1	5	3	1	3
1	25	20	20	16	15
父牛実頭數	27	25	24	20	22
出品娘牛頭數	30	30	30	30	40

表 2 產地別出品牛年度別頭數

区分	産地	50年	51年	52年	53年	54年	計
一部	県内	7	3	4	11	9	34
	県外	0	0	1	0	0	1
二部	県内	7	12	10	4	12	45
	県外	3	1	1	1	2	8
三部	県内	6	6	5	4	4	25
	県外	7	8	9	10	13	47
計	県内	20	21	19	19	25	104
	県外	10	9	11	11	15	56
備考	3部の 県外産品割 合	% 53.9	% 57.2	% 64.3	% 71.5	% 76.5	% 65.3

全説新報で述べられた言葉に賛意を表しながら転記しておきます。

『牛群を捕えることを目標に駄牛を淘汰すれば生産調整に対応し得ることもできる。（中略）粒揃いした牛群づくりを強く主張したい。一頭だけ共進会入賞牛をつくるより牛群全体の改良を計ることに意義がある。今後の共進会の在り方に牛群共励会も考えて頂きたい』

反別頭數		
	53	54
2	53	54
0	0	1
0	1	1
1	1	1
0	1	1
3	1	3
0	16	15
4	20	22
0	30	40

無理なことだと丹精こめて管理された一頭一頭を逐一拝見しました。

帰りましてから、大切に保管しております毎年の出品目録をとり出し、過去五六年の出品牛の父牛について調べてみましたところ別表のようになりました。

興味深いのは、出品牛の父牛が実に多

53年	54年	計
11	9	34
0	0	1
4	12	45
1	2	8
4	4	25
10	13	47
19	25	104
11	15	56
%	%	%
71.5	76.5	65.3

いことで、出品牛三〇頭に対し、五〇年は二七頭、五一年は五頭、五二年は四頭、五三年には二〇頭、そして今年は出品牛四〇頭で二三頭になっており、娘牛一頭づつを出品している種雄牛も、五〇年から二五頭、二〇頭、二〇頭、一六頭、今年一五頭でした。

こんなに種雄牛が多岐に亘っていることは、凍結精液の普及によって北海道等で飼養されている種雄牛も容易に人工授精できること、今一つ県外産が多いことによるものと思われますので、出品牛のうち県外産がどれ位を占めているかを集計してみました。

一部と二部はほとんど県内産ですが、三部はさすがに県外産が多く、五〇年は

県外産の経産牛は、やはり県内産に較べ良いものが多いようですが、知事さんが挨拶のなかで述べられた『共進会において日ごろの改良の成果を競い研さんし合うこと』に応えるためには、未経産の部で県内産が競うとともに、その延長としての経産牛についても県内産であることが望ましいことではないでしょうか。

このことは、今年の審査報告にも『経産牛の八割は北海道を初め県外産であつたことは残念で、西日本屈指の酪農県である本県としては、少なくとも過半数以上は県内産のものが出品されるよう頑張っていただきたい』と述べているように岡山県の乳牛がどのように改良されたらうかということを学ぶためには、一頭でも多くの県内産を出品されることが必要だと思います。

## 和氣町における

## 東備農業改良普及所 事業について

家畜  
人所

一、經過

耕種農家においては長年の化学肥料施用により土地がやせ有機質肥料の確保が深刻な問題となってきた。これらの問題を解決するために畜産農家群と耕種農家群の連携により家畜ふん尿の処理と利用の一体的な方法がとられなければならない。このような考えは、昭和五十二年度農村総合整備モデル事業の基本的な方針として打ち出され事業の実施が畜農家・耕種農家の双方で期待されたが、家畜ふん尿処理技術、利用技術等に問題点を残し実施が出来なかつた。そこで、和氣農協管内技術者連絡協議会では、各地の先進事例を研究し和氣町に適した処理技術、利用方法を見い出すため施設の試作・実証・展示等を行い、また、家畜ふん尿利用展示は場を設ける等して導入すべき施設、利用方式を組み立てた。これらの中の技術を比較的畜農家の少ない地域に導入し耕種農家群との補完結合を推進する。

進した結果優れた成果を得ることが出来た。このことをもとに、大規模な畜産園地化の比較的集中している大中山（福富）、田原地区で推進活動を行った結果、一法人と戸主からなる和気町畜産環境保全組合（組合長 小林基二）を昭和五十四年六月に設立し昭和五十四年度より二ヶ年にわたり畜産複合地域環境対策事業の導入により施設の整備を図ることとなつた。また、耕種農家群では三地区で地方増進組合が設立され堆肥利用希望農家は三百三十四戸、百五十二ヘクタールになつたもので次回に示すとおりである。

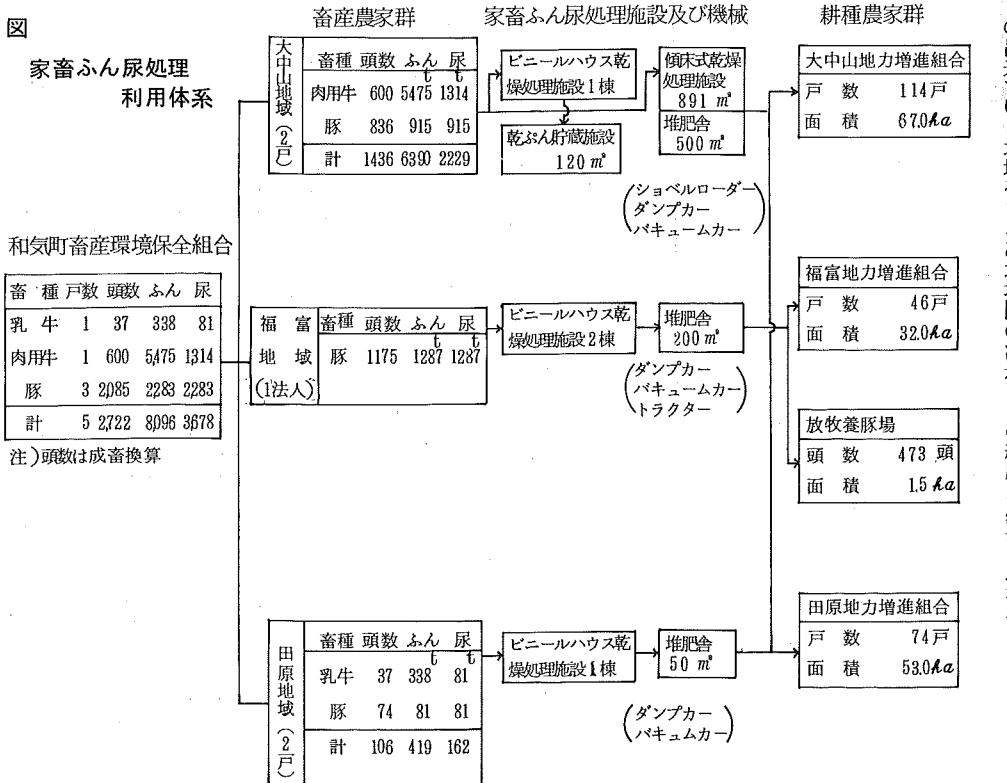
### 二、事業の内容

事業の実施主体は、和気町環境保全組合があつたり施設の整備と家畜ふん尿の堆肥化を行う。これを、大中山、福富、田原地区的地力増進組合が利用するという形で次回に示すとおりである。

### 三、今後の課題

一、この事業により和気町の八〇バーセントの地域における家畜ふん尿処理は出来るようになつたが、残りの地域の整備促進が必要となつてきている。

二、今回の事業で整備を行つた地域、



## 家畜ふん尿處理 利用体系

和氣町畜産環境保全組合

畜種 戸数 頭数 ふん

注)頭数は成畜換算

# 畜産経営安定長期平均払制度の概要と現状について

## 経過について

昭和四八年の石油ショックが畜産農家に与えた打撃は著しく、わが国の経済はそれまでの高度成長から一変して低経済成長へ移行することになり、畜産経営は一層の厳しさを迫られた。以前よりわが国の畜産部門は生産費の圧倒的部分を海外に依存しており、畜産物価および飼料価格の変動が常に著しく、まことに不安定であった。農協ではしかこの制度の実施農協においても、石油ショック後成長移行においては、農協経営の圧迫となり、将来、情勢の変化によっては、農業事業全般が深刻な影響を受けることが危惧されるに至った。このため系統農協では、長期平均払制度を実施している農協において、この制度が円滑に運営される補完措置が必要となり、全国的な規模による畜産経営安定基金の設立が企図された。昭和五一年度農林予算要求において助成要求が行われ、この

結果畜産農家、農協の経営の健全化と生産基盤の確立をはかるため、農協系統各段階と畜産事業団との協同出資により全国畜産経営安定基金の設立が得られるところになり、昭和五一年八月三一日付で農林事務次官名による畜産経営安定長期平均払促進事業実施要綱が定められ、そのスタートを見たのである。

**長期平均払制度の仕組とあらまし**

長期平均払制度とは、畜産農家経営安定のため、農家と農協が契約を結び、市況の好不況にかかわらず一定額（平均払額）のお金を支払い、期間（三年・一

年）を満了した時に精算する方法である。この方法だと、畜産物市況の①安定時②好況時③不況時における農家の農協取引と口座状況は次のグラフのようになる。

即ち農家では、いつの市況にかゝわらず主要生産費の延滞は無く、一定額の確保が出来ることになり、農協においても市況の安定時、好不況時を問わず農家の素販費・飼料代が精算され、精算後余剰があれば留保金に積立てられる。然し不況時においては留保金の取崩しで平均払に充当し、不況が継続すれば仮払金に依って生産農家への一定額の平均払を行ふことで資金が圧迫されることになる。この際畜産経営安定基金協会が機能するわけで、仮払金累積額の八〇%が融通される。この融資機能に今一つ災害等で生産農家が仮払累積額の返済不可能の際、その損失の八〇%が補償されることになつて、

岡山県に於ては全国畜産経営安定基金の設立発足に伴い、対象畜種のある農協三十数農協のうち、第一期間間に出资加入を行つた農協は七農協で、本年四月より第一期へ引き続き、損失補償の契約も一期の四農協から加入七農協の全部が締結されている。対象畜種の市況については豚価の低迷肥育牛では素牛の高水準と厳しい局面を迎えており折柄、この制度実施の成果が一層期待されることになる

ており、基金協会の二大機能となつてゐる。対象となる畜種は肥育豚、繁殖豚、肥育牛の三つの畜種に限定されている。昭和五年度末で一期三年間が満了し、日本より五七年二月三十一日を迎えたのである。

この全国的長期平均払制度も発足しての年の参加状況

岡山県に於ては全国畜産経営安定基金の設立発足に伴い、対象畜種のある農協三十数農協のうち、第一期間間に出资加入を行つた農協は七農協で、本年四月より第一期へ引き続き、損失補償の契約も一期の四農協から加入七農協の全部が締結されている。対象畜種の市況については豚価の低迷肥育牛では素牛の高水準と厳しい局面を迎えており折柄、この制度実施の成果が一層期待されることになる

合計	作東町	勝田	奈義町	湯野	美星町	矢掛町	昭和	農協名	畜種	対象頭数	関係戸数	一頭当たり平均払額
五、三九九	二、二八五	一六〇	三三三	一、三八〇	二、四九九	五九〇	五	八	四	一二	二戸	五〇、〇〇〇円
一一二	五七	四	一二	九	三	四九九	五	八	四	一二	二戸	五〇、〇〇〇円
				四去五	四五	四五	四〇	二〇〇	二、五〇〇			
				〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇			
				五五	〇〇〇	五五	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇			
				〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇			

に報告する。

- ③畜産物価格安定基金に加入する。
- ④家畜共済に加入する。
- ⑤衛生管理プログラムをまもる。
- ⑥契約頭数の変更のあった場合は農協に報告する。
- ⑦農協を全利用する。
- ⑧備荒貯金をする。

## 謹賀新年

### 業務内容

- ハーベストアサイロの建設
- ボトム・アンローダーのメンテナンス
- 酪農機械のサービスと販売・設計
- コンサルタント
- ミルカー ●バーンクリーナ
- アルドー ●バルククーラー
- デュオバック300
- 畜産諸資材その他
- 糖蜜飼料の販売
- スラリストア・システム

酪農家とのパイプラインをめざす

大阪アルファサービス株式会社

本社 大阪市西区新町1丁目3番12号  
四ツ橋セントラルビル1号館 〒550  
電話 (06) 541-0913・533-0567



## 協同活動強化第二次三カ年計画策定における畜産(肉畜)事業の課題

系統農協では去る一〇月一六日全国農協大会を開き、八〇年代農業の進むべき方向を討論し、協同活動強化運動の第一次三カ年計画をかけて、農業と農家を守る運動を展開することを探討した。

新三カ年計画は昭和五五年から五七年の農業の歩むべき方向を見定め、生産農家との話し合いによる地域での生産計画を樹て、これを県段階で、更に全国段階に積み上げて、大きな力としての運動を展開し、国の政策に結びつけて行こうとするものである。

五年から今は更にきびしい水田利用再編対策が予想される中で、所得が上れば消費も伸びる畜産が、一躍脚光を浴びて来たが、県内の畜産への取り組み意欲は掛け声とは裏腹にむずかしい状況につまっている。これから農業の中での畜産の持つ役割は大きくとくに今後は消費動向を見定めた展望の中での経営の組

み立てをする必要がある事を痛感した。  
本県においては広域食肉流通センター構想が実現に向い、生産者が最も期待する流通合理化基盤の確立が進められている。

その様な中で主要部門の肉畜における問題点と課題を拾って見ると、今一番安定している肉牛については、四九年の石油パニック時代の悪い悪い現象の後遺症が残っているが、現在の好況は消費基礎が固まった上にたたもので、牛肉消費の堅調な伸びは本年に入つてからも不景気を尻目に前年比八%台の伸びを続けている。世界的な視野からも、牛肉の不足傾向が目立ち、主な輸出国であるオーストラリアに於ても肉牛の減少が見られ、牛肉は昨年比二三〇%の値上がり、子牛は三三〇%の値上がりとなり、今後益々不足傾向は強まると言われている。

次に現在全くの混迷市況の中に置かれている肉豚については、昨年からの生産増と消費の伸び悩みが原因で低迷しているが、この肉豚価格は元来畜安法によって規制を受けており、この法律により、長期間安定基準価格を、市場価格が割る場合、調整保管を行ない、余剰豚肉を一時盤が固まった上にたたもので、牛肉消費の堅調な伸びは本年に入つてからも不景気を尻目に前年比八%台の伸びを続けている。世界的な視野からも、牛肉の不足傾向が目立ち、主な輸出国であるオーストラリアに於ても肉牛の減少が見られ、牛肉は昨年比二三〇%の値上がり、子牛は三三〇%の値上がりとなり、今後益々不足傾向は強まると言われている。

系統農協ではこの窮状を中央に結集し、一月十五日全国中央会、全農を中心にして、この事が市況を急落させて養豚農家に大打撃を与える結果となっている。

この様な情勢から国内牛資源の増産確保運動を強く展開することが望まれている。特に県内においては減少傾向の繁殖用和牛の増産に結びつけて肉牛資源の確保を図りたいものである。更に乳牛の県内保留を強力に進め肉牛の県内自給を確保したいものである。

### 経済連畜産課

又肉牛肥育については従来からの数で經營をこなす考え方を改め、經營に販売と協調しながら、価格安定の制度化や具体的な消費拡大、農村還元、新販路の開拓につとめ、肉豚農家の經營が一日も早く健全化する為の運動の展開を進めている。

県内に於ては、中央会を窓口とした農連と協調しながら、価格安定の制度化や具体的な消費拡大、農村還元、新販路の輸入がされており、輸入先は豚の安い台湾や韓国からのものは少なく、主としてカナダであり、価格においては国際競争力は強いが現実的には二〇〇万頭の輸入がされており、輸入先は豚の安い台湾や韓国からのものは少なく、主としてカナダであり、価格においては国際競争力は強いが現実的には二〇〇万頭の輸入がされており、輸入先は豚の安い



くみあい配合飼料



畜産農家の経営を豊かにし  
地域の経営に合った配合を  
原料高騰を防ぐ基金制度

供 給  
全農、岡山県経済連、農協

製 造  
岡山くみあい飼料KK 水島工場  
三興株式会社 神戸工場

(育す用、成鶏用、ブロイラー、乳牛用、肉牛用、豚用)

### 新刊書の発刊について

* 養豚の経営管理	A 5 判 約170ページ 定価 1200円 送料 160円
* 鶏ふん処理の新技術	B 5 判 88ページ 定価 800円 送料 120円
* 肉用牛舎および施設設計の手引	A 4 判 62ページ 定価 1,500円 送料 160円
* 林野の畜産的利用に関する技術問題と対応	B 5 判 50ページ 定価 700円 送料 120円

お申し込みは、岡山県畜産会へ

### あとがき

往々年、来る年も慌ただしく、新年を迎えることとなりました。

“明けましておめでとうございます。”

卷頭に花尾会長、三村畜産課長のごあいさつを戴き、続いて“一九八〇年代の畜産として各界の代表の方々のご抱負を頂戴いたしましたが、どなたもが、夫々の危機を論ぜられながら、開けゆく畜産の明るい将来に夢躍らせ乍らご決意を拝見いたし、誠に心強い限りであります。昨年の生産調整を貴い体験として、福をもって福となす意気込みで、生産量は抑えられても、利益を高める経営を營んで戴き度いと存じます。

岡山畜産便り（一月号）

第三卷 第一号

昭和五十五年一月二十五日

定 価	一部一八〇円（送料共）
発行所	岡山畜産便り（一月号）
印刷所	岡山市丸之内二十一番
電話・岡山(22)八五七五番	振替・岡山(22)八五七五番
ふじや高速印刷所	岡山市丸之内二十一番

# 購覧予約募集集中

概要

序文  
推せんのことば

- 予約申込〆切 昭和五十五年一月三十一日
- 予約価格 八、〇〇〇円 但し定価一〇、〇〇〇円 (一月一日以後)
- 申込方法 岡山県畜産史編纂委員会へ電話又はハガキで申込んで下さい。送先、必要部数をハッキリ書いて下さい。

- 購入票 受付順に購入票をお送りします。
- 送金 代金は振替用紙をお送りしますのでご利用下さい。

## 岡山県畜産史

お問い合わせ・お申込みは――

- A5判全一、二〇〇余頁  
特織麻布装上製箔押し函入
- 出版期日 昭和五十五年四月上旬予定
  - 出版部数 一、二〇〇部(限定版)
  - 編纂委員会 県及び関係団体(二三団体)
  - 監修 広島大学文学部教授 文学博士 石田 寛
  - 編集者 岡山県酪連会長 花尾省治外數名
  - 執筆者 畜産関係者二〇数名

第七章 家畜衛生  
附表 あとがき

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 第一編 総論              | 第一章 旧藩時代までの畜産の概要  |
| 第二章 明治大正年代における畜産の発達 | 第三章 昭和前期における畜産の推移 |
| 第四章 昭和戦後期における畜産の発達  | 第五章 養鶏の発達         |
| 第六章 その他の家畜          | 第一章 酪農の発達         |
| 牧野飼料作物ならびに流通飼料      | 第二章 和牛の変遷         |
|                     | 第三章 養豚の進展         |
|                     | 第四章 養鶏の発達         |

〒700 岡山市磨屋町九一一八  
岡山県農業会館5階  
岡山県畜産会内  
岡山県畜産史編纂委員会  
内線二二五二一 直通(〇八六一)一一一八五七五  
振替口座(岡山)一一一五

明けましておめでとうございます

本年もよろしくお願ひ申し上げます

良互薬品株式会社 畜産部

岡山市下中野350の3

岡山営業所 (0862) 41-5151  
津山営業所 (08682) 3-1161  
福山営業所 (0849) 22-2223

謹 智 新 年

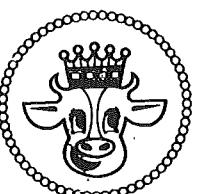
## 乳は国産 エサは全酪

団結は力!  
系統利用は団結の象徴

最高の水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系  
(乳牛の飼料は専門の全酪連におまかせ下さい)

主要取扱品目

専管、増産ふすま。外国大麦飼料。  
カーフトップ。脱粉飼料。カーフスター。  
幼牛用、搾乳用配合飼料。  
その他酪農用飼料資材全般。  
市乳、バター、チーズ、練乳、粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協!  
**全国酪農業協同組合連合会**

